

企画名	～目と耳で判る循環器疾患 循環器フィジカルの達人～
企画 責任者	佐々木 隆史 （膳所診療所）
目的 概要	<p>カテーテル、エコー、採血など診断機器が進歩を遂げる中、「身体所見」がどれだけ診療所や病院で、患者の役に立っているのでしょうか？リスクを持った多くの患者を診ているプライマリ・ケア医が、診断予想をつけて、いかに効率良く診断し、そのあとに続く適切なマネジメント、さらに専門医への紹介につなげるかはプライマリ・ケア医のまさに醍醐味です。フィジカルを愛してやまない循環器医と共に送る、循環器疾患に関連する身体所見を、参加型 WS で、直接、目と耳で学んでもらい、次の日からの診療に役立ててもらえる WS です。</p> <p>★形式：ブース別、実技参加型ワークショップ</p> <p>①聴診ブース：Ⅱ音の分裂を聴き分ける、②聴診ブース：収縮期雑音を探る、③視診ブース：頸静脈を診る</p>